

# “鉄より堅く逞しき”

生徒指導通信 第11号  
令和3年6月28日発行  
黒沢尻工業高等学校

## ○「自己ベスト更新」を目指して集中力を高めよう！

先日、東北高等学校選手権大会陸上競技の棒高跳びで、土木科2年菅野航太さんが4m80cmを跳んで見事優勝し、福井県で開催されるインターハイ出場を決めました。彼は、中学時代から記録を伸ばし続け、自己新記録で大会を制しました。今後は、岩手県高校記録(4m91cm)を上回る記録更新に期待が高まります。



(岩手日報記事より)

本校では、毎年、全校での野球応援やラグビー応援を行うことで選手から刺激を受け、全体の士気を高めてきました。ところが、コロナ

禍の影響でその機会が奪われ、盛り上がり欠ける状態が続いていました。今回の菅野さんの頑張りは全校生徒に勇気と感動、そして「やればできる！」という可能性を感じさせてくれるはずです。

さて、皆さんの中に「よし、やるぞ！」と取り組もうとしても、いつの間にかダラダラしてしまい、最初にあったはずのやる気も集中力も無くなっている人はいませんか？そのような人に取り組んでもらいたいのが「自己ベスト更新」です。

「〇月までに△cmジャンプ力を上げる！」など、自分の目標や自己ベスト更新を設定してみます。そして、設定した目標値を上回ることによって、達成感と自己ベスト更新というご褒美を受け取ります。「どれくらいの期間でやる？」「何が必要かな？」「どういうトレーニングが効果的かな？」といった、具体的な対策や工夫を考えることで“行動”が生まれ、どんどん前向きになるはずです。

まもなくオリンピックという世界最大のイベントが開催される予定です。様々なアスリートの頑張りに刺激を受けつつ、自分自身に「自己ベスト更新」の目標を課し、今やれることに希望と意欲を見出していきましょう！

## ○「生徒心得」の見直しについて

本校では、昨年度から生徒手帳の発行を止めました。今年度はオンラインで「生徒心得」を閲覧できるように変更しましたが、一度は目を通してみましたか？読んでみたとき、「あれ？」と疑問に思うことはありませんか？例えば、以下のようなものがあります。

- ・学校職員に対しては、尊敬と親愛の情をもって接すること。
- ・目上に対する言葉づかいは特に気をつけるとともに、家庭においても十分気をつけること。
- ・話題は常に洗練された気品あるものを選ぶように努力すること。

この「生徒心得」が最初に作られたのは昭和56年のことです。何度か改訂を重ねていますが、社会や時代の変化に合わせて見直すよう求められています。最近、新聞やネット上でも話題になっています。

そこで、皆さんにお願いします。我々教職員が先導して「生徒心得」を見直すのではなく、生徒の皆さんが主体的になって取り組み、作り直して欲しいのです。この学校を魅力的でより良いものにするのは、皆さん次第です。自分たちで決めたルールに責任と誇りを持つことが大事です。

今後の取り組みについては、代議員会でお知らせします。皆さんの協力をお願いします。

※「生徒心得」P.9～P.13の見直しになります。

“今、自分にできること。頑張ればできそうなこと。そういうことを積み重ねていかないと遠くの目標は近づいてこない”

by イチロー